

太平洋戦争をどう伝えたか

中外日報の戦時報道

連日掲載、帯びる熱

戦後
80年

戦況悪化、始まる「報国」

太平洋戦争の終結から80年を迎える今年、様々な教団や寺院、神社が戦没者の冥福と恒久平和の実現を祈る法要を各地で営んでいる。世界の平和と人々の安寧を祈ることは宗教者としてあるべき姿だが、先の大戦で日本の宗教界は戦争を支持し、協力した。大戦中は全国各地の寺院や神社で連日「必勝祈願」などの法要が厳修され、中外日報もその様子を肯定的に報じてきた。

1941年12月8日、日本軍が米ハワイの真珠湾と当時英領だったマレー半島を奇襲攻撃し、太平洋戦争が始まると、直ちに伝統仏教各教団の

萬の中國人を眞の自分の同志としたならば事變は既に解決してゐた筈なのである。重慶は上海の現場を見てゐる。

日本 の新政策は果してベテランであるか、否かを重慶は静かに見てゐる。この上海に於いて排他なくこの新方針（大御心の貫徹）を身をもつて實踐した時に事變は直ちに解決するのである。大東亞戦争の解決は支那事變處理にある。そして上海十萬の犠牲はこの事變處理の鍵を握つてゐるのである。私は昨年十一月

1941年12月8日、日本軍が米ハワイの真珠湾と当時英領だったマレー半島を奇襲攻撃し、太平洋戦争が始まると、直ちに伝統仏教各教団の

大戦末期には民衆の「祈り」はより過激さを増した。44年頃になると、自分の血で文字を書き強い決意や誠意を示す「血書」を行う宗教者に

祈り過激に「血書」目立つ

大戦末期には民衆の「祈り」はより過激さを増した。44年頃になると、自分の血で文字を書き強い決意や誠意を示す「血書」を行う宗教者に主信衆純氏は血書をもつて

戦争が長引き戦時体制が一段と厳しくなる中で、宗教界の必勝祈願もより熱を帯びたものになっていった。37年の国民精神総動員運動以降、浄土真宗をはじめ各宗派が「報国法要」を始めた。どの宗派も報国法要を特に重要な法要と定めており、多くの信徒が参列した。42年1月18日付で、曹洞宗京都宗務所と報国会による報国法要の様子を報じている。

記事には「当日は管長秦慧昭氏が導師をつとめ府下の寺院住職をはじめ檀信徒多数参列して盛大に修せられ」とある。秦管長は翌日、大阪で営まれた報国法要でも導師を務め、法要後は軍病院を慰問した。

このように戦時下では、各教団や本山のトップが全国各地で報国法要の導師を務め、慰問を行っていたことが分かる。

全国の百霊場で

一齊に必勝祈願

大東亞觀音會創立總會

決戦下宗教組織力を發揮

七月の西本願寺特別常會

劃期的な宗教運動を展開

決戦意識徹底に役立てるため

西本願寺では宗教心を活用して

劃期的な運動を特殊の組織力に

モノを言はせていよいよ七月全

國に展開することとなつて興味

と活氣を呈してゐる。即ち五ヶ

家の代表が完全に掲げば、十勢

の權威五十に、一を宛て選ん

で中堅幹部を依頼したのである

が、これは全國に異常な反響

を生じてを所謂百萬とか三百

萬戸と稱する西本願寺教團の權

威の如し。

三ヶ月前に三ヶ月前に三ヶ月前

全国各地で「必勝祈願」法要

全国の百霊場で行う必勝祈願について告知する1944年6月4日付2面

玉碎の勇士の建碑
丸一の村農
題二話佳の場登侶僧

氏神に薬草園を
全國神社に栽培奨

戦時下で宗教界が戦意の高揚という役割を担い、戦勝に木秀次郎氏もこの拳に感動、血書を申し出たのでそのため神戸の川崎病院院長西村博士は採血のため二午前九時登山の予定となっている。現代の視点で見れば驚くような内容だが、大戦末期の宗教界の様相を端的に示す記事だ。

44年6月25日付では、同じ「玉音放送」によって大戦は終結した。終戦後は、天台宗の国体護持祈願（8月21日付）など政府の立場に沿った法要も営まれたが、次第に戦死者の追悼など本来宗教者のあるべき姿に回帰していった。12月4日付は總持寺の追悼会を取り上げている。渡辺玄宗貫首を導師に営まれた法要は全世界の戦死者を追悼するもので、連合国軍最高司令官（GHQ）民間情報教育局のカーミット・リード・ダイク局長も参列したという。

（奥西極）

世界へひびく
岩澤の梵鐘



京都市右京区太秦唐渡町22
☎0800-777-1001
FAX (075) 872-8186
Eメール info@iwawasa-bonshou.com

お香の店
尾張屋

〒605-0088 京都市東山区新門前通大和路東入
電話&FAX 〇七五(五六一)五〇二七

瓦屋根工事

新築工事・改修工事
に最適

耐震・耐風・軽量の
改良本瓦葺

アスカ工業株式会社

〒135-0004 東京都江東区森下 4-13-10 アスカビル 電話：03-3846-6081(代) FAX：03-3846-6082
E-mail:sales@asuka-kougyo.co.jp http://www.asuka-kougyo.co.jp



浅草寺雷門(2017年弊社施工物件)